

# 赤ちゃんがほしい！ 不妊治療の進歩は、本当に女性に恩恵を与えて いるでしょうか～ 産科医の立場から

講師 川北 かおり (西神戸医療センター産婦人科医長 周産期センター長代行)

不妊治療の中で、自然に近い方法ではなく、高度な医療技術を用いて妊娠にいたらせるものを特に生殖補助医療といいます。体外受精がその主なものになります。「試験管ベビー」と言われたルイーザさんが1978年にイギリスで生まれてから、日本では1983年に初めてのベビーが誕生し、今では約27人に1人が体外受精によって生まれる時代となりました。合併症がある女性、晩婚のために高齢となった女性も、妊娠を望めるようになっていきます。

このようなリスクの高い女性は、生殖補助医療に特化した不妊クリニックで「妊娠にいたるまで」の医療を受け、その後は総合病院で「妊婦健診から出産まで」の医療を受けています。私は、後者に相当する病院で働いていますが、妊娠はしたものの、まさに「命からがら」の出産をすることになった女性、妊娠するところで力尽き、出産や育児を放棄したいと嘆く女性に数多く出会いました。

生殖補助技術が進歩したがゆえに、彼女たちをがんばらせすぎてしまったのではないだろうか、昔から言われるようにやはり「子どもは授かりもの」、人間の技術が越えてはいけない一線があるのではないだろうか。みなさまのご意見も聞かせていただければと思っています。

日時 2015年 9月26日 (土) 13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円 (コーヒー込み)

\*要申込み\* 9月23日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、webフォーム等でお申し込み下さい。



川北 かおり (かわきた かおり)

静岡県出身、1989年浜松医科大学卒。  
沖縄県 立中部病院、淀川キリスト教病院、  
パルモア病院などをへて、2008年より  
西神戸医療センター勤務。

日本産婦人科学会専門医、母体保護法  
指定医。



- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
 講演・発題  
 15:00～15:30 コーヒーブレイク  
 15:30～17:20 質疑とはなしあい  
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



## 2015年度 修学院フォーラム

### 「いのち」

第1回 5月16日(土)「なぜ、脳死・臓器移植は推進されるのか  
 —いのち・倫理・人間の尊厳をめぐる—」

講師：小松 美彦 (武蔵野大学教養教育部会教授)

### 「社会」

第1回 2016年1月10日(日)～11日(月祝)「核に依存しない世界に向けて」

「東北の被災地からの訴え」(仮)講師：川上 直哉 (東北ヘルプ事務局長)

「核に依存しない社会の構築」(仮)講師：飯田 哲也 (環境エネルギー政策研究所所長)

第2回 2016年1月30日(土)「日本の政治とキリスト教」(仮) 講師：佐藤 優 (文筆家)

### 「福祉」

第1回 7月11日(土)「希望の介護—認知症を考える「中島塾」によるこそ」

講師：中島 健二 (京都府立医科大学名誉教授、神経内科医師)

第2回 11月14日(土)「子どもたちに寄り添う」

講師：坪井 節子 (カリヨン子どもセンター理事長)



### 【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり

### 【会場へのアクセス】



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

### 2015年度 修学院フォーラム「いのち」第2回 参加申込書

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ( )	FAX ( )
電子メール :	@
通信欄 :	